

No.	【パブコメ】意見	市の考え
1	<p>座間市の部活動の地域展開への意見</p> <p>学校外へ展開する際は、その生徒の通う学校の年間予定を確認しながら活動が行えるようにして欲しいです。</p> <p>具体的には、中学校の定期テストです。</p> <p>現在は学校の部活の他にクラブチームに所属する子も一定数いると思うのですが、クラブチームの方針によっては、定期テスト前やテスト期間中でも全く休めない（休むと試合に出られなくなるなどの）ところもあります。</p> <p>今後、部活動が地域展開されるにあたり、部活動を受け持つ地域の方に生徒の通う年間予定を配布したり、学校側から働きかけて連携を取りながら、定期テスト前は現在のように1週間前から休めるようにするなど、生徒が休みを申請するのではなく、決まり事として学習に集中できる期間を設けて欲しいです。</p> <p>休みを申請するシステムの場合、真面目な子ほど休まない方が良いのではないかと考えて休みを申請出来ない可能性がある気がします。</p> <p>恐らく 学校に通う学生がいない家庭の人は大体、学校行事を把握していないと思います。</p> <p>広報のようなものは読む気がある人にしか届かないと思うので、地域展開の活動が開始する際には、関係者に個別に連絡が行くようにして欲しいと思います。</p> <p>どうぞご検討の程よろしくお願いします。</p>	<p>地域クラブの認定制度の導入につきましては、一定の基準を満たす団体を「地域クラブ」として認定していく方向です。</p> <p>いただいたご意見は、事業実施の際に参考とさせていただきます。</p>
2	<p>部活動に関しては専門のプロに外注すべき。教師の本分は学業であって兼任するのはおかしい。</p> <p>片手間でやる顧問より質の高いプロをお願いすることにより、子供達のモチベーションや将来性が大きく変わってくる。</p> <p>各家庭の費用や送迎負担が出ると部活を諦めないといけない子供が出ることも考え、費用面などは市で負担していくべき。</p> <p>部活動の内容も生徒達に決めさせて、定員割れした部活は外注の先生がつかないような一定の基準を設け、淘汰される部と盛り上がる部でメリハリを。</p>	<p>兼職兼業の在り方、種目についてのご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p> <p>また、本素案でも触れていますが、地域クラブの公費支援の在り方、経済的困難を抱える家庭への減免整備について検討を進めてまいります。</p>
3	<p>私は部活動の顧問に誇りをもって指導にあたっていますし、部活がライフワークの一つであると感じています。</p> <p>ただ、地域展開を行うのであれば速やかに行うべきであると考えています。</p> <p>それは時代の変化が大きくあるからです。かつての部活動の役割は現代の子ども達のニーズではないと感じています。</p> <p>クラブ活動をやりたい子どもが本気になってやれる環境を提供する。</p> <p>小学校のような環境になることを望んでいます。</p> <p>一方で、国や地方公共団体も部活動の展開や移行が主となっており、その点で大きな課題となっていることは重々承知しておりますが、その展開や移行はかなり無理があります。</p> <p>今後4年間の中で、結論ありきの議論か、ゼロベースの議論か、など具体的な方針を知りたかったです。</p> <p>働き方改革は一般市民に視えるかたちでは部活動が大きいと感じます。</p> <p>しかし、部活動が離れば長時間労働が減るとは思えません。</p> <p>小学校の様子を見れば分かります。</p> <p>3分類の主体的な運用、勤務時間が遵守できる教育活動に向けて、委員会として方針が出るとより、教職員にとっては視える化につながると考えます。</p>	<p>令和7年12月に文部科学省より提示されました「部活動の改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」の改革の方向性にも示されていますように、本市におきましても同様に進めてまいります。</p> <p>また、近隣自治体における部活動地域展開の状況なども参考にしながら検討を進めてまいります。</p> <p>いただいたご意見は、事業実施の際に参考とさせていただきます。</p>
4	<p>そのまま部活がいいです</p>	<p>本素案は、本市中学校の部活動を取り巻く現状や国の動向を踏まえ、生徒が主体的に選択できる豊かで幅広いスポーツ・文化芸術活動の環境を整えることを目指し、学校を部活動を地域に展開するためのものとなりますことをご了承ください。</p> <p>今後も多様なご意見を受け止めながら、生徒にとって望ましい部活動地域展開についての検討を進めてまいります。</p>
5	<p>移動手段を考えると、徒歩は困難</p> <p>自転車登校が可能になるのか</p> <p>最終下校の延長などの検討も必要</p> <p>お金が沢山かかるなら、地域クラブにも入らず、近隣の習い事を継続の予定の人も多く見られるのではないかと</p>	<p>地域クラブの公費支援の在り方、経済的困難を抱える家庭への減免整備について検討を進めてまいります。</p> <p>移動手段等につきましても、生徒の安全を考慮し検討を進めてまいります。</p> <p>いただいたご意見は、事業実施の際の参考とさせていただきます。</p>
6	<p>地域クラブが専門性を追求するあまり、才能の向上追求に走りすぎないようにした方が良いと思います。年齢差を超えて、上級生が下級生の面倒を見たり褒め合えるような、そんな楽しい集団生活の在り方を感じれるクラブになればいいと思います。私はアートを通して障がいのある人の個性を發揮して自信を持ってもらいたいと思って活動していますが、集団の中で自分の個性を發揮して認め合える、そんな体験学習ができる場になってほしいと思います。一人一人が個性を認め合える内容と、集団で何かを作り上げる内容を年間通してカリキュラムとしてあればいいかなと。そして発表会も行い、その演出もみんなで考えて作り上げるなど、そんな達成感を経験させてあげたいです。</p> <p>それぞれの地域クラブ同士での交流もあるといいと思います。</p> <p>そのためにも学校が体験や発表の場を無料開放して、その成果などを展示する文化拠点になってほしいと思います。</p>	<p>本素案でも触れていますが、地域クラブ認定制度の導入につきましては、一定に基準を満たす団体を「地域クラブ」として認定していく方向です。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、今後も部活動地域展開について検討を進めてまいります。</p>

7	<p>地域移行展開の素案、色々な立場の老若男女、価値観、感性の違いを取り入れ柔軟性、多様性のある部活地域移行を進めていただきありがとうございます。 素人の一市民で部活動地域移行についてまだまだ分からないことがたくさんある為、無礼な意見がありましたら申し訳ございません。 【意見】 ①武道系(剣道、空手道、柔道)の部活動がある学校が少ないのでプロ指導者の確保、地域移行での活動可能人数が確保でき、興味のあるお子さまがいらっしゃれば地域移行型部活動としていただいてもよいのかなと思います。 特に地域移行することが難しい場合、やりたい方がいない場合は無理なさらずで大丈夫です。 ②スポーツが好きで得意な子どもばかりではないので、文化系の部活動にも力をいれていただけると助かります。 ③職業体験でもご指導、ご協力いただいとてもありがたく感じています。地域の会社(農業、花農家、建築、畳等)、座間市文化協会(華道、茶道、歌舞伎、書道等)、地域の伝統芸能、サークル(お囃子、手芸、料理等)等と小、中、高、大学等のクラブ、部活動をコラボして日本、座間市の技能、文化継承、地域活性化の方向で進めていただくことは可能でしょうか？ ④現在、中学の部活動の選択肢が少なく先生の働き方改革で顧問の先生の心身の心配もありますし、共働きが当たり前のご時世家庭側でも部活動の協力することも難しく感じています。 あと、地域移行した際、指導、送迎等で協力いただく方に適正な賃金支給をお願いしたいです。 ⑤部活動保険等の対応など安心安全に部活動をおこなうことができる仕組みづくりもお願いします。 ⑥同じ部活動でも技術、勝利重視チームと、心身の為に楽しくコミュニケーション重視チームを最初から分けていただくと、部活動内での温度差の違いによるトラブルもなくなると思います。 ⑦当たりの事ですが熱中症対策、部活をほぼ毎日ではなく法令にそった休日をきちんととっていただけると助かります。 短時間でも能力向上に必要な部分を的確に合理的に行えば毎日でなくても大丈夫です。お休みすることも心身の為にとても大切なことです。 部活の位置づけは法令上では教育課程には含まれないので、勉強より、体調より何よりも部活優先としてしまうことは子どもたちの心身によろしくなく理不尽なこととなり、何か事故(死亡、後遺症、ケガ等)があった際責任問題にもなるのでそのことは重く受け止め今後も子どもたちの健全な成長のご対応いただくことを望みます。 ⑧地域の方でせっかく素晴らしい人格、知識、技能、スキルがある方がたくさんいるのに人材(人財)が上手く生かしきれていないことがありもったいないなあ…と感じることがあります。 座間市の子どもたちも素直で元気で素晴らしい才能をたくさんもっている方もたくさんいます。 大人が子どもたちの一部の行動や見た目などで思い込み、決めつけをせず、押さえ込みすぎず、長所を認めて子どもたちの才能を伸ばしていただくと助かります。 誰でも思い込み、決めつけで人格否定をされたら嫌な気持ちになり自身を失ってしまいます。 自分の長所を認められれば嬉しいですし、自信にもなり自己肯定感も高くなり良い循環になります。 老若男女すべての方が人に対してあたたかい目で見守っていただき、安心安全に過ごすことができるようにするためにも、学校家庭地域協力連携しながら部活動地域移行を進めていただくことを望みます。</p>	<p>本素案でも触れていますが、活動の多様性と柔軟性の確保及び、地域クラブ認定制度の導入について、財政支援と制度整備について検討を進めてまいります。 いただいたご意見は、事業実施の際の参考とさせていただきます。</p>
8	<p>平日の学校部活動と休日等の地域クラブ活動が併存する場合、部活動の顧問は関係機関との連絡調整に時間が費やされることが十分に懸念されます。各市町村教委による学校の働き方改革に関するアンケート結果でも、教員が負担を感じる業務として「関係機関との連絡調整」が挙げられているのが現状です。部活動を通じた教育や人間的成長に寄与するためにも、顧問が生徒と向き合う時間の確保が重要です。地域対応を担うコーディネーターなどの人的支援も必要ですが、ICT掲示板やグループチャットなども適宜活用しつつ、教員側も生徒側もお互いに負担感がない「情報共有ツールの構築」や、顧問と生徒との部活動以外のやり取りを防ぐための「(教員側・生徒側双方の)情報共有ルールの整備」の2点について、地域移行とともに推進することを望みます。</p>	<p>情報共有ツールの構築やルールの整備は、今後、地域クラブ活動を運営していく上で大切な視点であると考えます。いただいたご意見は、事業実施の際の参考とさせていただきます。</p>
9	<p>教員の無料奉仕は労働者としてあり得ない 教員が家庭生活を普通に送れることこそが求められる。 現在の部活動は生涯教育として位置付けられることが望ましい 子どもたちのやりたいことを体験してほしいと思う 地域クラブやスポーツクラブの保護者負担は大きくなるので、家庭の経済格差が出やすいので、生涯教育として税金での助成もあるべきだと思う 保護者も働き方が変えられて(給料が上がること、余暇の時間が増えること)我が子の好きなことに付き合えることも前提になると思う 指導者のパワハラや性加害がないことも大切で人対人であることを自覚できる大人に指導してもらいたい 自治体は教育にお金をかけることを渋らない</p>	<p>本素案でも触れていますが、地域クラブの認定制度の導入及び、財政支援と制度整備について検討を進めてまいります。 いただいたご意見は、事業実施の際の参考とさせていただきます。</p>
10	<p>今回の休日のみ部活動を地域クラブへ移行する案は、賛同できません。 徐々に移行するにしても、平日と休日で監督者が代われれば、監督自身のモチベーションも上がらず、また考え方の相違等も発生する懸念を感じます。 部活動を地域クラブへ移行する案には賛成ですが、移行するのであれば一気に完全に移行するのが望ましいと思います。</p>	<p>令和7年12月に文部科学省より提示されました「部活動の改革及び地域クラブ活動の推進等に関する総合的なガイドライン」の改革の方向性にも示されていますように、本市におきましても同様に進めてまいります。 今後も多様なご意見を受け止めながら、生徒にとって望ましい部活動地域展開についての検討を進めてまいります。</p>

11	<p>座間市「部活動地域展開基本方針（素案）」への意見</p> <p>神奈川県の高教員をしています。部活動について現場の立場、保護者の立場から意見を送ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動は子どもたちにとってとても大切な場になると実感しています。教室での学習や学校行事の他に、夢中になれるものを見つけ、仲間と共に試行錯誤しながら技術を磨き、活動する中で、人間性を高めていける場であると考えます。 ・そこに欠かせないのが、適切な指導者の存在です。技術的指導だけでなく、活動全体を通して、生徒の人的成長を見守る存在が必要です。現在の部活動インストラクターのような薄謝では、そのような志がある指導者でも適切に力を発揮できない現状です。きちんと財政的な支援をお願いします。 ・また、学校生活での生徒の様子を知る教員と部活動の指導者との連携、情報共有も子どもたちをサポートする上では欠かせないものです。その視点もぜひ忘れないでいただきたいです。 ・教員の負担軽減については必須事項ではあるものの、部活動指導に力を発揮できる教員も多くいます。普段から子どもたちと接している教員であるからこそできる指導も多くあります。指導を望む教員については、地域展開の中での活動も業務の一環としてとらえる（他の業務の軽減、人材確保なども含めて）検討が必要かと考えます。 ・平日部活動について17時半以降という活動時間は子どもたちの生活上、遅すぎるのではないかと考えます。地域クラブ活動については、学校施設の使用をすることで、安全面、移動面の問題をなるべく解消していただきたいです。 <p>以上</p>	<p>地域クラブの認定制度の導入につきましては、一定の基準を満たす団体を「地域クラブ」として認定していく方向です。</p> <p>また、指導者確保の際には、いただいたご意見を参考とさせていただきます。教職員の兼職兼業規定の作成や費用負担の在り方については、地域展開スケジュールに示したように検討してまいります。</p> <p>平日部活動については、いただいたご意見を参考とさせていただきます。</p>
12	<p>座間市「部活動地域展開基本方針（素案）」への意見</p> <p>部活動の地域移行に関する素案を拝見し、今後の子どもたちの教育環境について以下の通り意見を送付いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 部活動の教育的意義と「人間性の育成」について 部活動はこれまで日本の教育を支えてきた極めて大きなファクターであると認識しています。部活動に最も期待する役割は「人間性の育成」です。この目的を達成するためには、指導者の質の担保が不可欠であり、適切な指導力を維持するための具体的な施策を強く求めます。 2. 教員の負担軽減と教育の質の向上 教員が本来の業務である授業準備や生徒指導にリソースを集中できるよう、部活動に伴う負担を確実に軽減させる方針を支持します。 3. 平日における「生徒の自発的活動」への支援 外部委託が休日のみとなる場合、平日は生徒たちの自発的・自治的な練習が中心となります。この際、単なる「放置」にならないよう、教員間で生徒を見守り、導くための具体的な方法論を検討・共有し、現場に浸透させていく仕組みが必要です。 4. 指導体制の分離による「形骸化」への懸念 平日（教員）と休日（外部）で指導母体が異なることにより、指導の一貫性が失われ、生徒が本気で取り組める環境の確保が難しくなることを危惧しています。活動が「サークル程度」のものに留まれば、高いレベルを志す生徒は外部の習い事等へ流出し、部活動そのものが形骸化してしまいます。結果として、部活動が持っていた「人的成長の場」としての機能が失われ、実効性のある体制構築を要望いたします。 <p>以上</p>	<p>平日の部活動については、当面、学校部活動を継続しますが、その場合、部活動指導員や指導協力を派遣し、教員の負担軽減に努めるようにします。</p> <p>また、活動の多様性を検討しながら、生徒のニーズに応じた多様な地域クラブを検討してまいります。</p> <p>いただいたご意見は、事業実施の際に参考とさせていただきます。</p>